

# 琉球新報

THE RYUKYU SHIMPO

速報

# 嘉手納統合に反対

## 普天間移設

# 町民大会で決議

## 嘉手納住民 過重な負担訴え



普天間飛行場の嘉手納基地統合を阻止しようと結集した町民ら  
11月7日午後5時ごろ、ロータリー広場

【嘉手納】米軍普天間飛行場の嘉手納統合案反対町民大会(同実行委員会主催)が7日午後5時、嘉手納町のロータリー広場で開かれ、普天間飛行場の嘉手納基地統合を阻止しようと町内から多くの住民が結集した。大会では①嘉手納統合案断固反対②基地の整理縮小、基地負担の軽減などを求める四つのスローガンと決議文を採択。

実行委員会の委員長は宮城篤実町長。町役場、町議会、町民が結集した。大会では①嘉手納統合案断固反対②基地の整理縮小、基地負担の軽減などを求める四つのスローガンと決議文を採択。

### 決議文要旨

嘉手納基地への「統合案」に言及した岡田克也外相の発言は、地域の約83%を嘉手納基地として接収され、日夜激しい米軍機の爆音禍で生活環境が破壊されている町民に新たな犠牲を強いるものであり、断じて容認できない。PAC3の強行配備、昼夜の即応訓練、F22Aラプターなど度重なる外来機の訓練激化に伴う爆音の増大など、米軍再編ロードマップに掲げられた沖縄の基地負担の軽減とは程遠く、ますます基地機能は強化

されている。嘉手納統合案は、13年前に町民や基地周辺自治体の猛反発にあり、選択肢から消えていた。再びこの案を持ち出すことは町民の心を踏みにじり、新たな基地負担と犠牲を強いるもので断じて許されない。われわれは岡田外相の発言に厳しく抗議し、発言の撤回を求め、自らの生命、安全、財産および平穏な生活を守る立場から米軍普天間飛行場の嘉手納統合案に断固反対する。

2009年11月7日  
米軍普天間飛行場の嘉手納統合案に反対する町民大会